



天地を喰らう

2

三雄集う!の巻

本宮ひろ志

天地を喰らう 2



わからんの
じゃよ
わしらには
未だに

突然
立ちあがり
空を
にらんで
志を
すてては
ならんと叫んで
舌を
かみ切つて
しまった



なにか
心あたりが
あるんですか
!



わからん
俺にも
わからん
しかし…

どこかで
母の叱咤する声で
俺は 巨大な
なにかを
手に入れたような
気がする

それから
あなたの母者は
こと切れる寸前に
私たちに
伝えました!

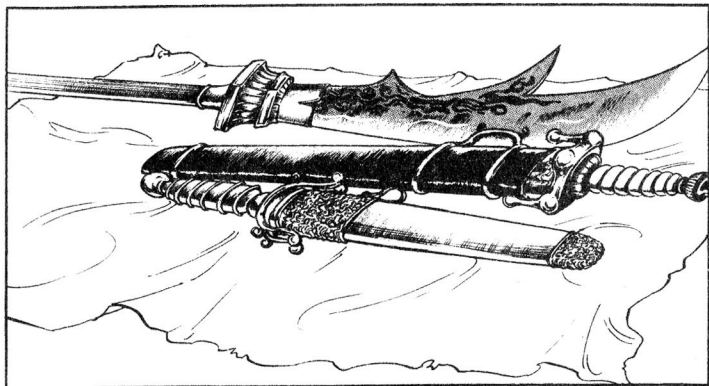
玄徳が
帰ってきたら
家の床下を
掘るが
よいと!

床下
……?



おっ
なにか
でつけえ箱が
でてきたぜ
!





母上の
手紙だ！



玄徳よ
おまえが 志をたて
天下に出る時は
この怒竜の剣を
身につけるが よい

おまえの身分を
証明するものです
そして もし おまえに友が
できたら
最初のふたりに一本の剣と
偃月刀を 与えなさい



また
おまえの体に
あうよう

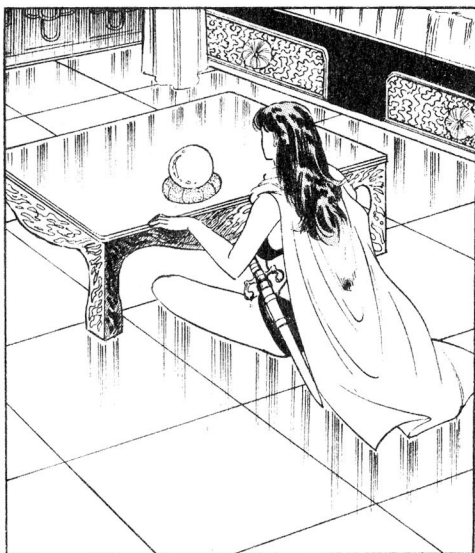
鎧甲を
用意して
おきました

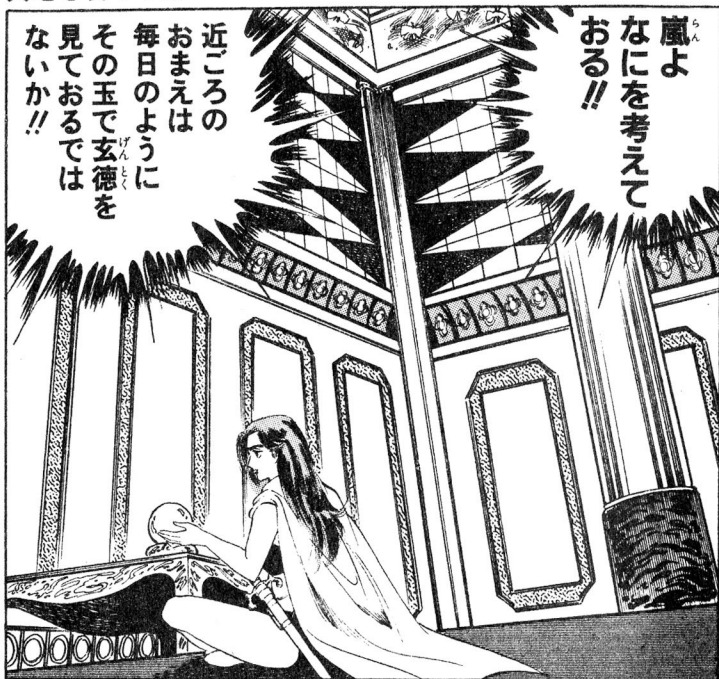


は：
母上！



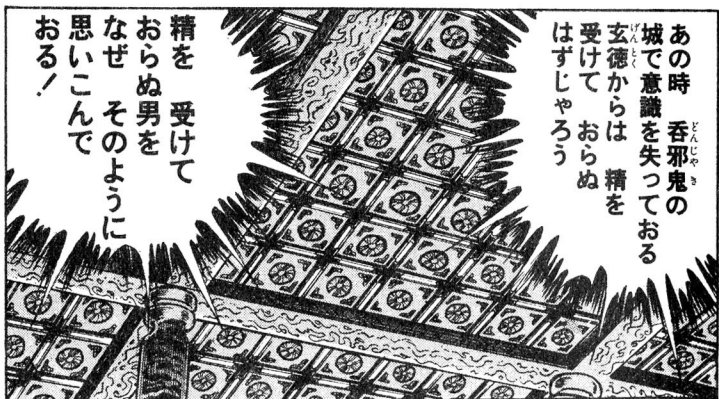






嵐よ
なにをを考えて
おる!!

近ごろの
おまえは
毎日のように
その玉で玄徳を
見ておるでは
ないか!!



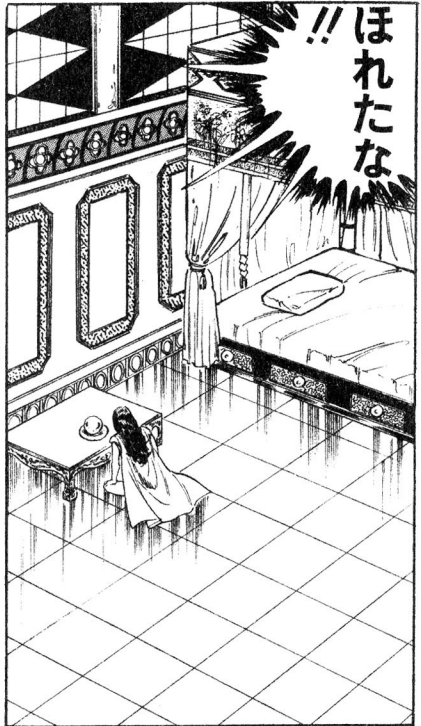
あの時 吞邪鬼の
城で意識を失つておる
玄徳からは 精を
受けて おらぬ
はずじゃろう

精を 受けて
おらぬ男を
なぜ そのように
思いこんで
おる!

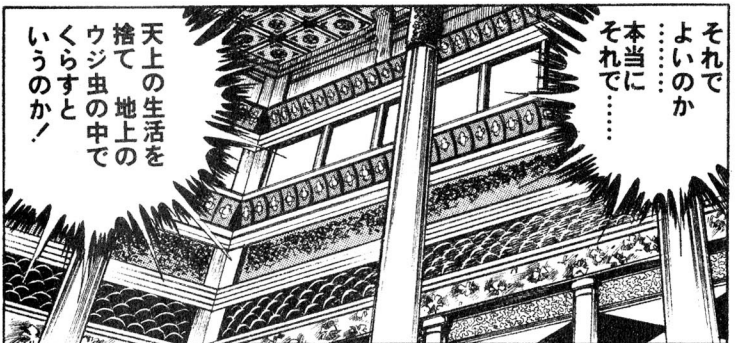
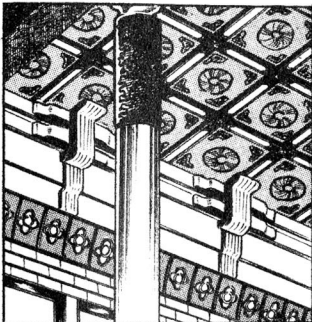


父上
.....

嵐は
玄徳の下へ
まいります
ございませす



!! ほれたな



それで
よいのか
.....
本当に
それで.....

天上の生活を
捨て 地上の
ウジ虫の中
でくらすと
いうのか!



はっはは
わあっは
はは！

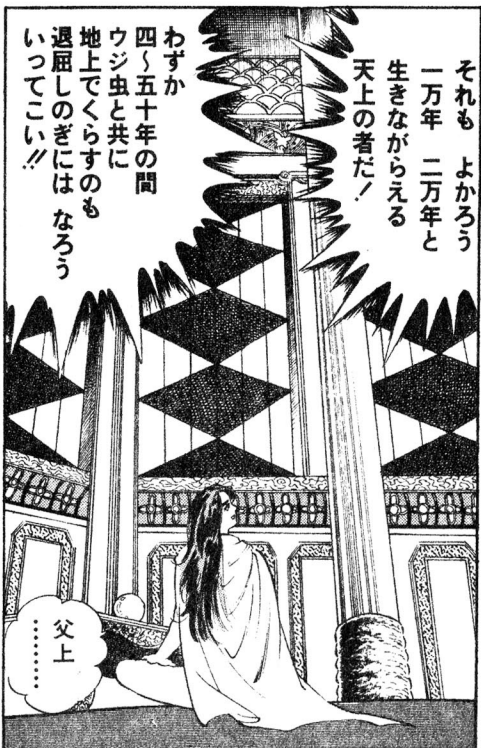


げんとく
玄徳の
そばで！

げんとく
玄徳を
みつめていとう
ございます



しかしあやまちは犯すなよ
その時は天上に帰れなくなり
ウジ虫と共に四く五十年で
おまえの一生は 終わりだ
忘れるでないぞ！！

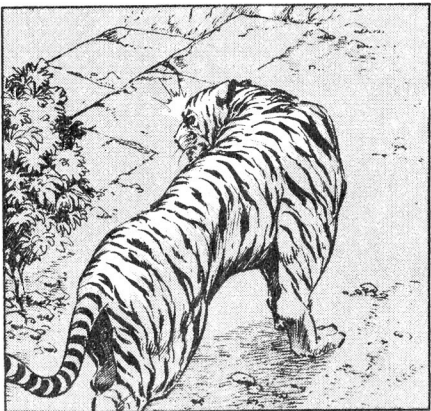
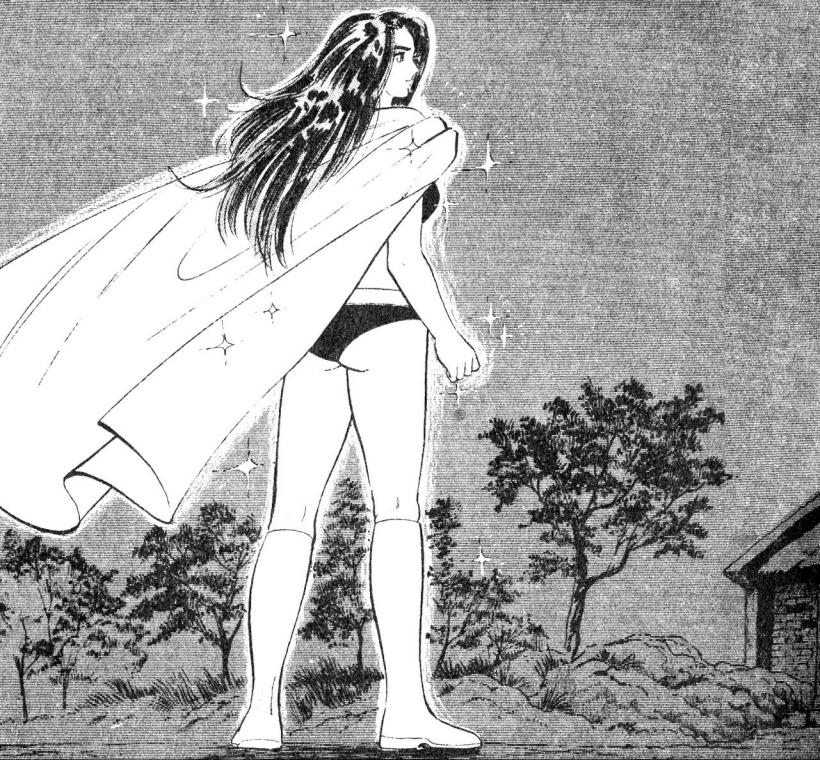


それも よかろう
一万年 二万年と
生きながらえる
天上の者だ！

わずか
四く五十年の間
ウジ虫と共に
地上でくらすのも
退屈しのぎには なるう
いってこい！！

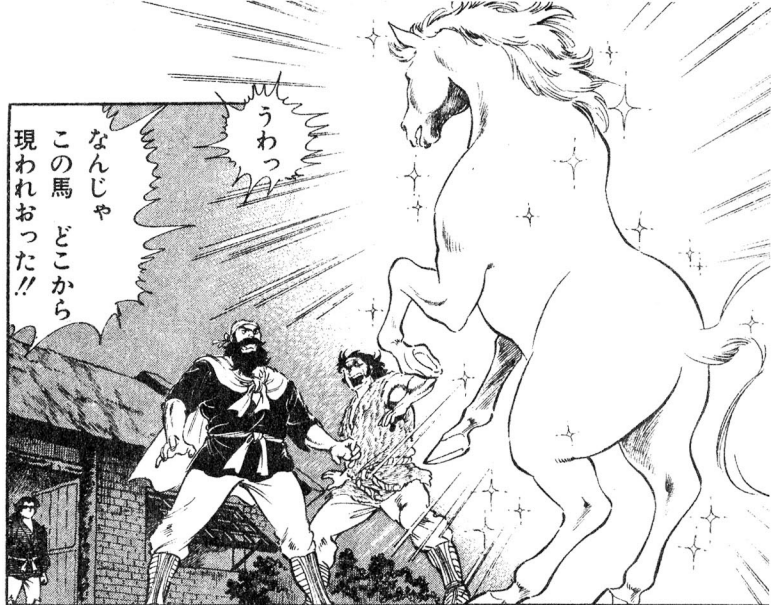
父上
.....













後漢ごかんの末

(二世紀末)

靈帝れいいていの時

涿郡たくぐんの
守りは
だれだ！



河北の鉅鹿県において

張角という男が

太平道を起こした

太平道は 病人や貧しさに苦しむ

者たちに過ちを懺悔させ

符水を飲ませる事によつて

苦しみを取りのぞく

信仰団体だった

その数は みるみる

ふくれあがり

やがて

漢に対して反乱を起こしたのである

頭に黄色い布を

まいていたので

黄巾族と呼ばれた

その黄巾族の賊将 程遠志が

五万の大軍を ひきいて

涿郡に攻めいつてきた!!

幽州長官
劉焉殿が
総指揮を
とつてござる

よし 賊将
程遠志の
首を
みやげに

劉焉軍に
合流する







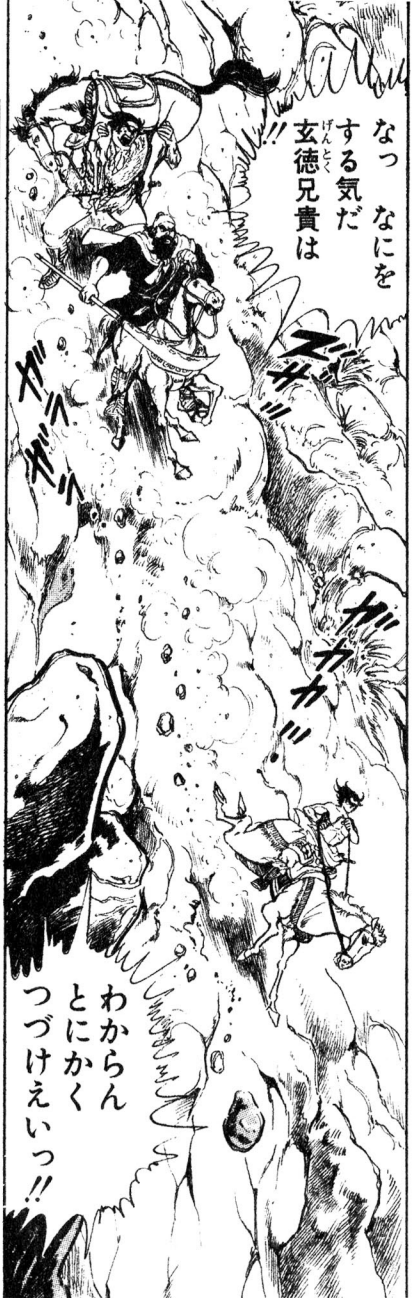


あ—っ
いっやあ
!!



!! 玄徳殿
げんとく

兄貴!!



なつ なにを
する気だ
げんき
玄徳兄貴は

わからん
とにかく
つづけえいっ!!

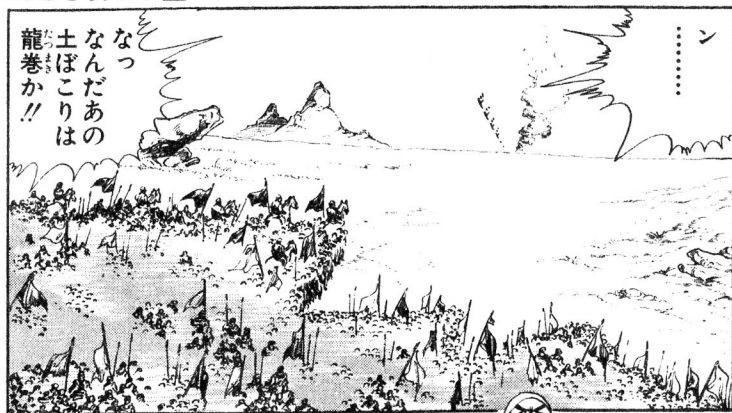


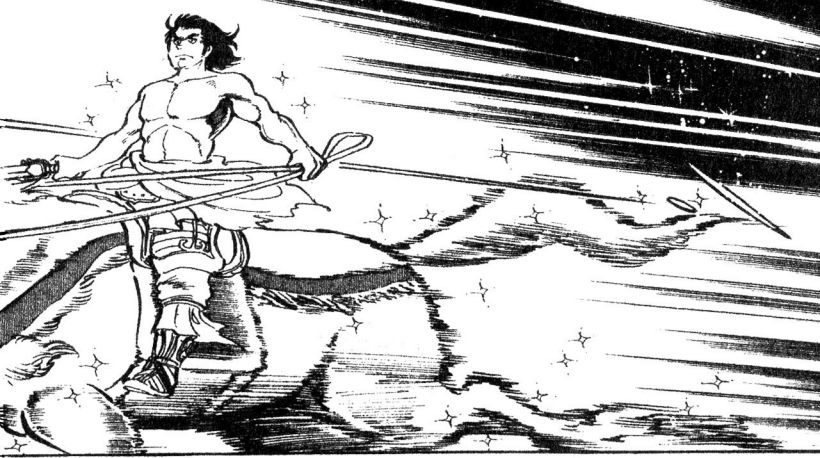
うおおお
つ

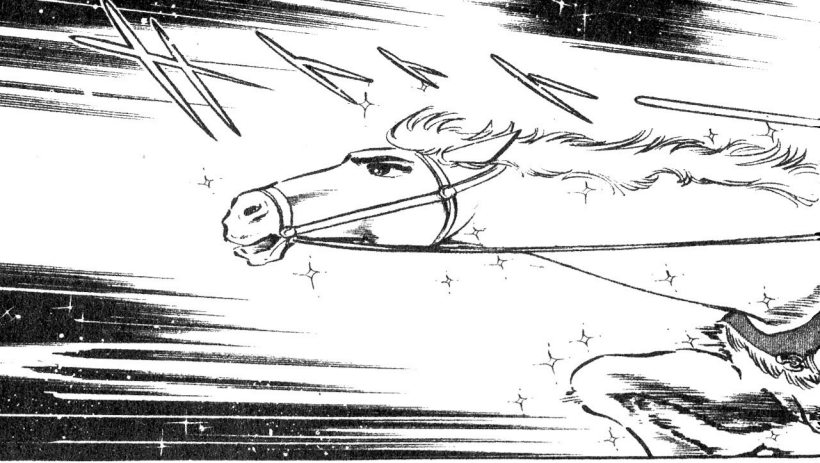


まさかひとり
で五万の大軍に
つっ込むつもりか
そんな
ばかなっ!!

しかしあの白馬
なんて馬だ
まるで追いつけん
すごい
スピードだぞ







まるで
空を
かけて
いるよう
だぞ！
つつ込ん
でくる
一気にここへ
つつ込んで
くるぞ！！



おおお
！！